

氏名

アリヨシ ワタル
有吉 渉

所属	九州歯科大学 歯学部 歯学科 健康増進学講座 感染分子生物学分野		
職名	教授		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科修了	学位	博士（歯学）

専 門 分 野		感染症学・免疫学			
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	感染と免疫Ⅰ・Ⅱ	4 単位	42.0 時間	0.0 時間	歯学科
	感染と免疫Ⅲ	1 単位	0.0 時間	30.0 時間	歯学科
	臨床基礎応用学	1 単位	0.0 時間	30.0 時間	歯学科
	感染症学Ⅰ・Ⅳ	4 単位	60.0 時間	0.0 時間	大学院
	感染症の分子生物学	2 単位	30.0 時間	0.0 時間	大学院
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）		大学連携推進室 寄付講座（歯周医学）教員（兼任、2020年-）、1年次生WADSキャンプ実行委員長（2020年-）、大学院教務部会長（2022年）、歯学科2年次生学年主任（2022年）			
研 究 分 野		分子生物学・免疫学			
研究課題	課題名	1) 骨・軟骨代謝 ・免疫受容体による糖鎖認識機構を介した破骨細胞分化制御機構の解明 ・生体分子による骨・軟骨代謝制御機構の解明 ・新規化合物を用いた骨代謝性疾患治療法の開発 2) 感染と免疫 ・自然免疫における異物排除機構の分子生物学的解析 ・糖鎖やナノ化合物を用いた口腔内感染症の治療法や予防法の開発 ・ヒトと伴侶動物における歯周病原細菌の交差感染の解析 3) 悪性腫瘍 ・新規デバイスを用いた新たな口腔がん病態解明モデルの確立 ・口腔細菌と口腔がん細胞の相互作用の解明			
	キーワード（5つまで）	骨・軟骨代謝 炎症 細胞外マトリックス 糖鎖科学 免疫受容体			
	共同研究等の実績	九州工業大学、北九州市立大学、東京薬科大学、埼玉医科大学、大阪歯科大学、物質材料研究機構 East Carolina University			
研究業績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	Inoue M, Nagai-Yoshioka Y, Yamasaki R, Kawamoto T, Nishihara T, <u>Ariyoshi W</u> . Mechanisms involved in suppression of osteoclast supportive activity by transforming growth factor- β 1 via the ubiquitin-proteasome system. PLoS ONE, 17 (2): e0262612, 2022				
	Okita K, Yamasaki R, Nakamura Y, Sakakura T, Kawano A, Takatsuji Y, Haruyama T, Yoshioka Y, <u>Ariyoshi W</u> . Quick and environmentally friendly sterilization process of dental instruments by radical vapor reactor Process Biochemistry, 113: 22-26, 2021.				
	Iwasaki M, Usui M, <u>Ariyoshi W</u> , Nakashima K, Nagai-Yoshioka Y, Inoue M, Kobayashi K, Borgnakke WS, Taylor GW, Nishihara T. Validation of a Self-report Questionnaire for Periodontitis in a Japanese Population. Scientific Reports, 11 (1): 15078, 2021.				
	<u>Ariyoshi W</u> , Hara S, Koga A, Nagai-Yoshioka Y, Yamasaki R. Biological Effects of β -Glucans on Osteoclastogenesis. Molecules, 26 (7): 1982, 2021.				
	Hara S, Nagai-Yoshioka Y, Yamasaki R, Adachi Y, Fujita Y, Watanabe K, Maki K, Nishihara T, <u>Ariyoshi W</u> . Dectin-1-mediated suppression of RANKL-induced osteoclastogenesis by glucan from baker's yeast. Journal of Cellular Physiology, 236 (7): 5098-5107, 2021.				
産学官連携実績 （主要3件）	Artzによる軟骨細胞におけるMKP-5を介したMMP-13発現の負の調節機構（2022年-）				
	歯周病の安全な予防剤および予防方法の開発（2018年-）				
	β -グルカンを用いた歯周病悪化を抑制する口腔内にやさしい歯磨剤の開発（2018年-）				
産学官連携可能・希望分野	顎口腔領域の感染性疾患に関する診断システムや予防法、治療法の開発				
取得した実用新案特許等 （主要5件）					
所属学会 （主要5件）	歯科基礎医学会 日本骨代謝学会 日本炎症・再生医学会 日本感染症学会 The International Society for Hyaluronan Sciences				